

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
平成29年度 定例社員総会議事要旨

1. 開催日時 平成29年5月26日 午前10時30分～午後5時10分
2. 開催場所 東京都千代田区平河町2-4-1
都市センターホテル コスモスホール
3. 会員(社員)総数 160名
4. 出席会員(社員) 147名(うち委任状出席 6名)
5. 出席理事 新井 一、吉田晃敏、若林孝一、榎 正幸、永井良三、峯岸 敬、中山俊憲、北島 勲、岩田仲生、野口光一、大塚愛二、満田憲昭、守山正胤、根本建二、齋藤 清、長谷和生、平山篤志、相原道子、尾崎承一、稲垣暢也、古家 仁、横山彰仁、鮫島 浩
6. 出席監事 吉村博邦、岡村吉隆
7. 議長 会長 新井 一
8. 議事要旨作成者 会長 新井 一
9. 議事の経過の要領及びその結果
上記のとおり過半数の社員が出席し本会は適法に成立した。よって、会長 新井 一 は定款の規定により議長となり、着き開会を宣し、議事に入った。

[審議事項]

第1号議案 理事の選任について

議長は、辞任理事の後任者を補欠選任したい旨を述べ、議場に諮ったところ、いずれも満場一致をもって原案どおり賛成し、下記の者が選任された。なお、被選任者はその就任を承諾した。

記

就任理事	前任者	所属大学名
石崎 泰樹	峯岸 敬	群馬大学
汲田 伸一郎	坂本 篤裕	日本医科大学付属病院
北山 道彦	松本 忠美	金沢医科大学病院
小椋 祐一郎	城 卓志	名古屋市立大学病院
竹中 洋	吉川 敏一	京都府立医科大学
杉野 法広	田口 敏彦	山口大学医学部附属病院
永安 武	下川 功	長崎大学
八木 実	志波 直人	久留米大学病院

但し、任期は定款の規定により、前任者の残存期間とする。

第2号議案 平成28年度収支決算案について

議長の指示に基づき、事務局長 石橋秀昭が、平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日）における本会議の事業状況について、別添事業報告書をもとに詳細に報告を行った後、同年度に関する本会議の計算書類等について詳細に説明をした。

議長がこれについて監事の報告を求めたところ、監事 吉村博邦 は、計算書類等を綿密に調査した結果いずれも正確かつ適当であることを認めた旨を報告した。

よって、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって原案どおり承認された。

第3号議案 平成29年度事業計画案について

議長の指示に基づき、事務局長 石橋秀昭が、本会議の平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の事業計画について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第4号議案 平成29年度収支予算案について

議長の指示に基づき、事務局長 石橋秀昭が、本会議の平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の収支予算について、別紙に基づき詳細に説明をした。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

第5号議案 Student Doctor 認定証カードについて

議長の指示に基づき、稲葉委員長（共用試験検討委員会委員長）が本議案について説明した。Student Doctor 認定証カードの発行価格やデザイン等について別添資料3のとおりとしたい旨、本件については平成29年4月25日開催の理事会で承認済みである旨の説明がなされた。

議長がこれを議場に諮ったところ、満場一致をもって賛成し、原案どおり承認可決された。

[報告事項]

下記の各委員会から、別添資料のとおり、委員会報告がなされた。

(1) 共用試験検討委員会／稲葉 憲之 委員長

審議事項 第5号議案で、Student Doctor 認定証カードについて、配布資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(2) DPC（包括評価支払制度）に関するWG／小山 信彌 座長

平成29年4月に実施した医療機関別係数アンケートの集計報告があった。この調査は4月、10月の年2回実施しており、次回10月の調査では、紹介率や逆紹介率、ベッドの回転率等々、データ項目を拡充する予定である旨、説明があった。

(3) 経営実態・労働環境WG／海野 信也 座長

地域医療構想における大学病院の位置づけに関する提言（案）を作成した。この提言（案）について定例社員総会で承認後、当日中に厚生労働省に提出する旨の報告があり、承認された。

(4) 大学病院の医療事故対策委員会／有賀 徹 委員長

平成29年4月12日に発信した日本医療安全調査機構、日本医師会、各都道府県医師会への「医療事故の調査に関するメッセージ」について報告された。

また、平成 29 年 7 月 1 に「医療事故の調査などに関するシンポジウム」を東京都医師会館にて開催する旨、報告された。

(5) 専門委員長会／山下 英俊 委員長

新設校から正式な加入の申し込みがあった場合、現行の規則通り、理事会・定例社員総会で審議し、加入について検討するという結論に至った旨、報告があった。

(6) 医学教育委員会／山下 英俊 委員長

(7) 卒後臨床研修検討WG／山下 英俊 委員長

モデル・コア・カリキュラムに対する対応について、午後の部の【その他報告】の中で説明する旨、報告があった。

(8) 国家試験改善検討WG／山上 裕機 座長

第 110 回医師国家試験アンケートの結果報告、および第 111 回医師国家試験アンケートの実施について報告された。

(9) 医学生の学力に関するWG／福島 統 座長

医学生の学力に関するアンケート調査結果について報告された。

(10) 専門医に関するWG／島田 眞路 座長

「全国市長会「国民不在の新専門医制度を危惧し、拙速に進めることに反対する緊急要望」に対する反論」を厚生労働省に提出した経緯について説明があった。

(11) 新設医大対応WG／小川 彰 座長

配布資料に基づき、今後の対応について説明があった。

(12) 医学教育の質保証検討委員会／奈良 信雄 座長

平成 29 年 3 月 18 日、日本医学教育評価機構 (JACME) が、世界医学教育連盟 (WFME) から国際認証機関として認められたことが報告された。

(13) 医学部大学院のあり方検討委員会／齊藤 延人 委員長

配布資料を基に、「研究にかかわる医師の必要性に関するアンケート調査」について報告された。アンケート結果より、特に若い世代で医師の基礎系の教員の数が減っていることが見て取れた。

(14) 動物実験検討委員会／高橋 雅英 委員長

配布資料を基に、外部検証の現状報告と動物愛護団体等の最近の動向、外部検証の人材育成プログラム、実験動物飼養保管基準解説書と動愛法の動向について説明があった。

(15) 地域医療検討委員会／守山 正胤 委員長

配布資料を基に、「全国大学附属病院 研修医に関する実態調査」の結果について報告された。人口比率にあわせて、どれくらい研修医が戻っているのかなどの調査をしてはどうかとの意見があった。

(16) 大学病院の医療に関する委員会／山本 修一 委員長

日本国内での処理ができないセシウム線源の管理について、原子力規制庁と A J M C で相談をしており、費用について更に検討が必要との報告があった。

(17) 利益相反検討委員会／苛原 稔 委員長

日本製薬工業協会 (製薬協) が「医療用医薬品等を用いた研究者主導臨床研究の支援に関する指針」を公表したため、製薬協よりその概要の説明を受け、製薬協に対してこの指針が研究を削減することに繋がらないように申し入れた。また、4 月 7 日に臨床研究法案が

交付され、「認定臨床研究審査会」などの施設整備に多額の費用を要するため、資金援助を文部科学省に申し入れたことが報告された。つづいて3月8日に開催した「医学研究倫理指針・COI マネジメントの改定及び臨床研究法案の施行に関する説明会」について報告された。今後の検討事項として、2013年版「医系大学・研究機関・病院のCOI(利益相反)マネジメントガイドライン」の改訂と「研究者主導臨床試験の実施にかかるガイドライン」のブラッシュアップ、組織(学長、医学部長、病院長)のCOIの指針の作成、日本医学会・AMED・日本専門医機構との研究倫理教育の共通化、日本学術会議軍事的安全保障研究に関する声明(平成29年3月24日)に関するAJMCの対応があげられた。

また、委員会の名称を「臨床研究・利益相反検討委員会」と変更することが了承された。

(18)男女共同参画推進委員会／相原 道子 委員長

配布資料を基に、「大学病院勤務医のキャリアデベロップメントに対する意識と実態調査」について、中間報告された。

(19)広報委員会／稲垣 暢也 委員長

広報誌、ホームページ、記者会見について報告された。経費削減のため、議事録のAJMCホームページ(会員専用ページ)掲載等含め内容を大幅に見直し、年2回の広報誌を年1回発刊することが了承された。次号は来年春とする。

(20)被災地医療支援委員会／嘉山 孝正 委員長

東日本大震災、熊本地震の事例を基に、全国を7ブロックにし活動することについて説明された。

(21)調査解析検討委員会／江石 義信 委員長

(22)医学部・医科大学の白書調査WG／江石 義信 座長

「わが国の大学医学部・医科大学白書2016」の完成について、報告された。

(23)カリキュラム調査WG／奈良 信雄 座長

隔年で調査している「医学教育カリキュラムの現状」アンケート調査の今年度の実施について説明された。

(24)地域における医師養成の在り方に関する調査実施委員会／小林 誠一郎 委員長

文部科学省の大学における医療人養成の在り方に関する調査研究事業である「平成28年度地域枠調査」を基に、地域枠制度の現状と今後について報告をされた。

〔講演会〕

- (1) 日本医師会の医療政策ーかかりつけ医についてー／日本医師会 横倉義武会長
- (2) AMED のミッション グローバルデータシェアリングによる課題解決／日本医療研究開発機構 末松 誠 理事長
- (3) モデル・コア・カリキュラムの6年ぶり3回目の改訂／文部科学省 佐々木昌弘企画官
- (4) 医師確保・医師養成に関する政策の現状／厚生労働省 武井貞治医事課長
- (5) 専門医制度の現状と課題／日本専門医機構 吉村博邦理事長
- (6) 病院機能評価 機能種別「一般病院3」の新設について／日本医療機能評価機構 橋本迪生理理事

[ブロック会議報告]

- (1) 近畿ブロック (説明者：大阪医科大学 大槻勝紀 学長)
 - ・教員評価、再任評価 – プラス評価とマイナス評価 –
配布資料を基に、近畿 12 大学の教員評価、再任評価について説明があった。
 - ・大学附属病院のガバナンス改革について
ガバナンス改革について説明があった。多くの大学は厚労省の意向を重んじて選考方法を見直す予定であると回答している。
- (2) 東北・北海道ブロック (説明者：弘前大学 若林孝一 医学部長)
 - ・医療安全管理部門への専従の医師の配置について
2020 年 4 月以降は医療安全管理部門に専従の医師を置くことが求められている。専従の医師のキャリア形成、専門医の資格維持が困難になる場合が想定されるため注視することが必要であることについて提案があった。
- (3) 中国・四国ブロック (説明者：鳥取大学 廣岡保明 医学部長)
 - ・死亡時画像診断 (A I) に対する取組み状況について
中・四国ブロックの A I センターの稼働、その経費について説明があった。
- (4) 九州ブロック (説明者：産業医科大学 金澤 保 医学部長)
 - ・経済的に困窮している学生の現況調査とそれら学生への支援について
従来の奨学金制度は成績が一つの採択に勘案されているが、経済的困窮している学生、アルバイトに専念している学生は優秀な成績をとることが不可能であり、そのような学生に対して何らかの対策、現状把握を今からしておく必要があることについて提案があった。

[その他報告]

- (1) 両立支援コーディネーター研修について / 労働者健康安全機構 大西洋英 理事
配布資料を基に、両立支援コーディネーター研修について説明があった。
- (2) 医学教育モデル・コア・カリキュラム (平成 28 年度改訂版) について / 山下委員長
配布資料に基づき、平成 28 年度改訂版医学教育モデル・コア・カリキュラム、目指すべき医師像について説明があった。コアカリ冒頭「モデル・コア・カリキュラムの考え方」に、卒前・卒後の一貫性、医学教育に関して全国医学部長病院長会議で今後の医学教育方針を公表した、これを踏まえて日本医師会・文科省・厚労省等で話し合うことを進めるとある。日本医師会とワーキングをつくり (卒前卒後の医学教育改革のためのワーキンググループ)、今後検討していくことが報告された。
- (3) モデル・コア・コンピテンシー検討WGの報告について / 国立大学医学部長会議 江石座長
配布資料に基づき、卒前・卒後の一貫した医学教育が目指すコンピテンシーを作成したことが報告された。また、「医学教育モデル・コア・コンピテンシー 初版」のポスターを作成し各大学に配布することが了承された。
- (4) 創立 50 周年記念式典について 平成 29 年 9 月 22 日 (金) / 吉村監事
配布資料に基づき、創立 50 周年記念式典について説明を行った。
- (5) 第 30 回 日本医学会総会 2019 中部 開催について / 石橋事務局長
配布資料を基に、日本医学会総会 2019 中部 開催について案内があった。
- (6) 三者懇談会・文部科学省・厚生労働省・全国医学部長病院長会議 / 新井会長

配布資料を基に説明があり、前回総会后、8月、12月、4月と3回開催したことが報告された。

(7) 医療に関する懇談会 -日本医師会・全国医学部長病院長会議- /新井会長

配布資料を基に説明があり、前回総会后、7月、12月に開催したことが報告された。

(8) 卒前卒後の医学教育改革のためのワーキンググループ-日本医師会・全国医学部長病院長会議- /新井会長

医学教育改革、卒前・卒後のシームレスな医学教育の推進のため、日本医師会とワーキンググループを立ち上げ、4月19日に第1回が開催されたことが報告された。

(9) 臨床教育プロジェクト（日米医学医療交流財団）/石橋事務局長

配布資料を基に、臨床教育プロジェクトについて案内があった。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款の規定に基づき、議長が次に記名押印する。

平成29年5月26日

一般社団法人全国医学部長病院長会議

定例社員総会

議長 会長（代表理事）

新井

